

# のびっこ

発行：名張市子育てサークル連絡協議会  
事務局：名張市桔梗が丘西3番町3街区107番地  
名張市子ども支援センターかがやき内  
TEL/67-0250 Fax/66-5650



## のびっこ



2000年にみなさんにサークル協議会のことをもっと知ってもらいたい、1人ご

子育て奮闘中のお母さんにもサークルの活動状況を伝えること  
いう思いから始まったのびっこ。15年が経ちこのたび100号を迎え  
ました。「のびっこ読んでます」「のびっこ楽しみにしてます」のみなさんの



1. のびっこ100号発行に寄せて ～おみやげ先生～
2. のびっこ100号記念企画 『たいこのリズム』 いっしょにあそぼう!!
3. サークル協議会、て??
4. エッセイ 『幼稚園バスそく、ごはん』

あたたかい声に支えられ、そしてサークルのみなさん、おみやげの先生方にご支援ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
近年スマートフォンやパソコンが普及する中、のびっこでは「久からずへ」生きた情報をお伝えし、少しでもみなさんの子育てのお役に立てれば幸いです。今後とものびっこをどうぞよろしくお楽しみいたします!

### 1. のびっこ100号発行に寄せて



「のびっこ」第100号発行、おめでとうございます。子育てサークル連絡協議会の活動を見せていただく中で、子育て中で大変だけど、だからこそできるたくさんの、元気パワーをいっぱい感じます。「のびっこ」は名張の子育てママたちの熱い思いがいっぱい詰まっています。子どもと一緒に子育て真っ最中だからこそ出てくる発想で子育てを思いっきり楽しんでいるサークルのみなさんがキラキラ輝いています

名張を子育てしやすい街に「名張版ネウボラ事業」を推進していますが、掲載されているエッセイに毎回、大感激！この時期にしか味わえない子どもたちとの日常を、子育てを楽しもう！という母の愛情がいっぱいあふれ思わず笑顔、とても温かい気持ちになります。元気なみなさんの子育てが、そしてサークル活動がたくさんのお母さんにつながってほしいと願っています。子育て仲間との出会いの中での心育ちを親子一緒に経験する場がサークルであり、その中で、「認め、育ち、支えあう」のがサークルのよさであると思います。もっともっとその輪が広がり、名張に住む子育て中のお母さんやお父さんたちにこれからも情報発信して人と人をつなぎ、子育ての楽しさをアピールしてほしいと思います。かがやきも事務局として応援させていただきます。

子ども支援センターかがやき 山崎 律子



**2. のび=100% 『たいの リズム』 しらしにあそぼう!!**

サークル連絡協議会では、今年度ののび=100%記念yearとして様々な企画を計画中です。その第1弾として、今回『たいの リズム』 しらしにあそぼう!!』を開催します。

たくさんのお参加お待ちしておりますー♪♪♪  
 ♪たいの リズム♪ しらしにあそぼう!!

環境子育て中の夫婦による家族ユニット『かわむらんど』さんをお招きします!!

日時：7月9日(木) 10:15受付 10:30スタート

場所：美禰市民センター 2F 多目的ホール

定員：40組

申し込み：サークル加入者は各サークル役員へ  
 サークル未加入者はかがやきへ (tel 67-0250)



7/7(火)締切

※会場のほか  
 コーヒー、  
 スナックの時間  
 もあるよ!

♪ 体を動かす時間もありますので、参加される方は動きやすい服装、水筒を持参して下さいね♪

**3. サークル連絡協議会について**

みんなサポーターと呼んでいます



サークル連絡協議会 (正式名称：美禰市子育てサークル連絡協議会)

平成11年6月、13の団体で設立。サークル間の連携と活動の場、市長の調整、その世界を築く集約を行い、サークル活動の充実、相互の親睦を図ることを目的としています。



各サークルより  
 役員選出

- ① 美禰市に登録している子育てサークル
- 親子くらぶ、すくらんぼ、ブラスマール、ほろぼろ
- こどもこいん、まんぷくお母、母の手、はなふ
- 手車アチ、Mother Land (現在の団体)

Q. どんな活動をしているの?

A. \*協議会通信「のび=1」の発行  
 \*サークル交流会 (遠足、運動会、クリスマス会など)、講演会、研修会などの開催  
 \*子育てサークルのPR活動  
 をしています!

Q. 協議会に入っていると何かいいことがあるの?

A. \*かがやきの趣見が借りられる  
 \*サークルではできない企画が楽しめる  
 \*子育てに関する情報が集めやすくなる  
 \*1人では言いにくい要望などを、協議会を通じて、行政、かがやきなどに伝えることができます



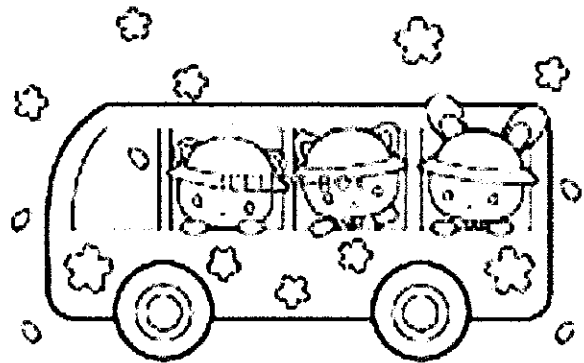
実行委員  
 名張石セニ厚子湯  
 小泉聡見 啓栄 小川あけい  
 ママノースの一步

参加  
 (厚子の役員さん)

♡ 様々な方々に支えられています♡

#### 4. エッセイ 「幼稚園バス そして、ごはん・・・」

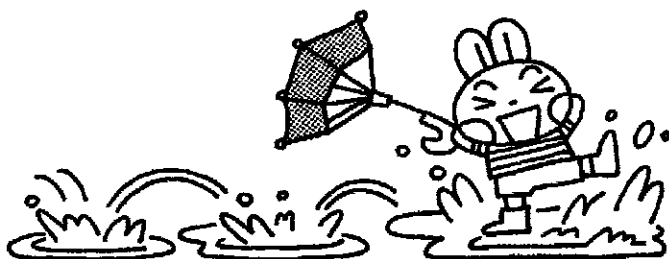
長男5歳は、この春から幼稚園に通いだしました。幼稚園に通うのも楽しみにしていましたが、それ以上に楽しみにしていたのが幼稚園バスです。初日、自分の乗るバスが〇〇号だとわかると帰宅した時から遊びはトミカのバスで幼稚園ごっこです。私が野菜の絵を描きバスに貼ったり、積み木で幼稚園や自宅を作る提案をすると 更に本格的な遊びになりました。毎朝、行くときには弟に触



られてはいけないとバスを手の届かないところに片づけます。そして、帰宅したらまた幼稚園遊びです。ものすごい愛着があり、バスの中でのやり取りを言ってみたり、運転手さんが大好きで入園の時に頂いた顔写真を見ては話しかけています。自分の乗る〇〇号が大好きで仕方がない長男です。そんな我が子も4月には、3・4回 「行かない〜!」「休む〜!!」と言ったことがあり 泣く我が子の手をひき外に出てバスを待った日もありました。でも、泣きじゃくっていたのにバスが見えると「バスがきた。行ってくる!」と何事もなかったかのようにバスに乗っていく姿に思わず拍子抜け・・・(笑) こんな風に、我が子にとっては大切な〇〇号に、5月の連休明けから大きな変化がありました。運転手さんが、体調不良でお休みをされ運転手さんが代わってしまったのです。期間限定ということのようでしたが、実際のところよくわかりません。毎朝、バスが来るたび「今日も違う・・・」と言う息子が切なく、いつしか親子で復帰を心待ちにするようになりました。息子は、いつものように顔写真を見ては話しかけたり、毎朝「今日は〇〇さんかなあ」と聞きます。朝の準備をするときには「早く、行く準備出来たら、〇〇さんも早く良くなるかな?」と言う日も。更には仏壇に「〇〇さんが早く良くなりますように・・・」とお願いする姿も。母として、必ず復帰をしてほしいと願うばかりでした。そして、ついにその日がきました。そうです。運転手さんが復帰をされたのです。待ち焦がれていた運転手さんだとわかると、あまりの嬉しさに思わず息子ではなく、母がバスに向かって手を振っていました(笑)

今日も大好きな運転手さんと大好きな〇〇号バスに乗って登園です。

いつもありがとうございます。感謝



裏面につづく・・・

さてさて、恒例の我が家情報です。

我が家の食卓は、有難いことに沢山の種類のおかずが並びます。田舎ならではの、大量に作って下さるので翌日にも残り物が並びます。なので、新たなおかずも加わり種類が多く見た目が豪華です。質素な食卓で育った私にとっては、もったいないなあ、贅沢だな・・・と嫁いだ日から私は日々感じています。でも言えません。

(あー、今までに何度かは言ったな・・・) 用意をして下さったものを有難く美味しくいただく。これも嫁いだ日から心に留めていることです。ここで、この家の食卓が当たり前になっている長男登場です。実家は、その日に食べきる! がモットーなので翌日にも同じものが並びのはあまりなくその日のおかずだけ。なので、1・2品です。次男を出産ししばらく実家に帰っていた時に長男が食卓をみていました。「これだけ?」。私は、「は?!」と思いました。そうです。品数が少ないのでそう感じたのです。この日以来、この子の感覚をどうしたら変えていけるのだろうかとずっと気にしていました。

月日は経ち、今の家でのある日。メニューはおでん(大鍋、大量)。そして、必ず並ぶお味噌汁。ごはん。珍しく残り物はない日でした。十分ですよ。(私は、あー、3日間は続くなと思いました。) ですが、長男は言いました。「これだけなん?」量が少なくお腹が満たされないのであれば話は別ですが、見た目の判断に母としては許しません。以前、話をしたのが入っていなかったのだと反省しました。これではいけないと思い、考えました。ご飯だけでもお腹一杯になるのだということを経験を通して身につけさせようと思い、私と長男だけご飯だけの日を作ることにしました。周りからは、「夜のご飯、おかずがなくてご飯だけやってん。」って幼稚園とかで言ったらどうする? 恥ずかしくない? と言われました。私は構わないと思いました。それよりも、品数が少なかったり、量が少ないのを見て「これだけ?」と言う方が恥ずかしいと思ったのです。勤めて下さっている義父たちも一緒にというのは気が退けたのでおかずを並べる前の食卓で私たちだけで先に頂くことにしました。二人で、大きな器に白米のご飯をよそって、お茶と一緒にお腹一杯いただきました。おかずがなくても、ご飯だけでも、美味しくお腹一杯になるね。と話しながらいただきました。ご飯は甘いのだという事も感じとれたようです。また、農家の我が家にとって丹精込めて作ってくださるお米の有難さも再確認できたのではないのでしょうか。私自身、塩おにぎりにもせず ご飯だけでお腹一杯いただいたのは今回が初めてでした。長男にどこまで伝わったかわかりません。子どもは正直なだけ。子どものことだしそこまでしなくても・・・と思われるかもしれませんが。食卓の事は母がして下さる我が家です。食生活の価値観も違い、母として、もどかしいことも沢山あります。今のおかれた環境に感謝をしつつ、母として子どもに伝えたいことを角が立たないようにどう伝えていくか・・・日々、葛藤です。1か月に1回、お米デーをとろうと思っています。今月は、いつにしようかな・・・。 感謝 (2015・6月)

